



ホームステイプログラム in ヘイスティングズ

平成22年度ホームステイプログラム。7月24日～8月4日の12日間、大津町の姉妹都市であるヘイスティングズ市に中学生2人、高校生5人の子どもたちが旅立ちました。異国の地でチームワークを発揮し、多くのことを学ぶことができました。

コミュニケーションを学ぶ

西岡拓海さん

自分の英語の力を試したい、色んな人と会話をしたい。それがホームステイプログラムに参加した理由でした。会話の中で、あいさつなどを交わすことはできましたが、緊張して何を話しているのか分からず、自分から積極的に会話をすることはできませんでした。しかし12日間という期間で自分の経験を増やすことができ、とても充実した時間を過ごしました。

吉村 輝さん

12日間という期間、アメリカで過ごしてきましたが、自分が考えている

以上に英語で話すことは難しかったです。普通に知っている英語でも、話すスピードが速く、何を言っているのか理解するのにとても苦労しました。単語は理解できなくてもジェスチャーを使ってコミュニケーションをとることができたのでうれしかったです。

金島春香さん

英語漬けの生活は、常時リスニングテストを受けているような気分で、最初は戸惑いました。しかし、必死にジェスチャーなどを使って自分の言いたいことを伝えることができるようになりました。英語をもっと勉強して、外国の人と話せるように努力していきたいと感じました。

池田友子さん

日本人と比べてアメリカ人は自分の意見をしっかり持っていて、それを主張できるということが一番印象に残っています。積極的に何にでも参加をする、そこからコミュニケーションが生まれる。伝えたい、理解したいという思いがあれば気持ちを伝え合うことができる。これを機にいろんなことに進んでチャレンジしようと思いました。

文化の違いを学ぶ

村山 澤さん

外国の文化では、場所や性別に関係なく、とてもフレンドリーで親しみやすかったです。目が合うと笑いかけたり、手を振ると振り返ってくれ

西岡拓海さん
Takumi Nishioka
大津中学校2年



吉村 輝さん
Hikaru Yoshimura
大津北中学校2年



金島春香さん
Haruka Kaneshima
大津高校1年



池田友子さん
Tomoko Ikeda
熊本北高校2年



村山 澤さん
Mio Murayama
大津高校1年



佐藤晴香さん
Haruka Sato
大津高校1年



たりします。とても素晴らしい習慣だと思いました。このプログラムを通して夢への第一歩を踏み出せました。次に行く時は、夢を叶えた自分でありたいです。

佐藤晴香さん

文化の違いをまじまじと感じたのは、アメリカの人の良さでした。ドア一つにしても開けて待っていてくれるし、一緒に写真を撮ってくださいとお願いすると快く一緒に写ってくれる。日本では考えられないことだと思います。今回学んだことを忘れず、これからの生活に生かしていきたいです。

澤村真奈花さん

自然が多く、空気も綺麗で、とてもリラックスできる町でした。ホームステイ先の家族も温かく、自分の子どものように接してくれました。4年間学んできた英語が役立った部分もありましたが、まだまだの部分も多々ありました。今回の経験を生かして今後につなげていきたいと思いました。

澤村真奈花さん
Manaka Sawamura
菊池高校1年



保護者の皆さんから『目的はそれぞれかもしれないが、このチャンスを生かしてさまざまなことを学んで欲しい』『一回りも二回りもたくましくなって帰ってきて欲しい』という期待を背に受け旅立った子どもたち。帰国した彼らは、保護者の想像を超える成長を果たしていました。

今回の経験を通して彼らの更なる飛躍を期待します。

大津町と姉妹都市の米国ヘイスティングズ市

友好の日本庭園 お色直し

大津町とヘイスティングズ市との姉妹都市提携から15年目を迎えた今年7月、町民ボランティアの4人が渡米、同市にある「友好の日本庭園」の修復作業に汗を流しました。

この日本庭園は、姉妹都市提携の翌年、1996年に両市町のボランティアの手によってヘイスティングズ大学に作られました。大津町からは庭を設計した翔陽高校教諭（当時）の鎌浦誠一さんをリーダーとする町民4人のボランティアが全員自費で渡米、現地ボランティアとともに作業し、僅か1週間で見事な庭園を完成させました。

そのメンバーはその後メンテナンスと技術指導のために数回渡米していますが、今回も鎌浦さんたちメンバーが傷んだ竹垣の修復や庭木の植え替えなどの作業のために5年ぶりに現地を訪問。メンバーの活躍で庭は見事によみがえり、現地のボランティアの皆さんとの共同作業で改めて両市町の友好のきずなを深めました。

1 今回の補修作業で美しくお色直しされた枯山水の日本庭園。両市町の友好のシンボルとして市民に親しまれています。2 現地ボランティアと作業に汗を流すボランティアの皆さん。

